



かおり通信

学校教育目標……『自分らしさを大切に、互いに認め合える子どもの育成』 「自律」と「共生」

めざす子ども像…『共に考える子・互いに思いやる子・みんなでチャレンジする子・最後まで諦めない子』

学校経営目標……『“共にくらす、共に学ぶ、共に育つ” 喜びのあふれる学校をみんなでつくりましょう』

～6年間で育てる 学校全体で育てる～

めざす学校像……『子どもたちから笑顔が絶えない学校・気持ちのいい挨拶、きれいな学校・教職員同士が

専門家として成長できる学校・保護者の期待に応える学校・地域と学校が支え合う学校』

茅ヶ崎市立香川小学校 2021年度 2月号その2

2022年2月10日発行

2021年度学校アンケート考察

1月に実施しました学校アンケートの結果と考察をお知らせいたします。媒体を紙面によるものからwebに変更したことで、9割を超えていた回答率が7割に減りました。他校でもwebに変更したことで回答率が減少する傾向があります。多くの方に回答していただけるよう周知していくことを今後も取り組むことが必要です。今回、回答率が減っていることから、本アンケートの結果は、保護者の総意というよりは、学校教育に関心を持ってくださっている7割の保護者の方々の意見であることに留意して受け止めていかなければならないと考えます。

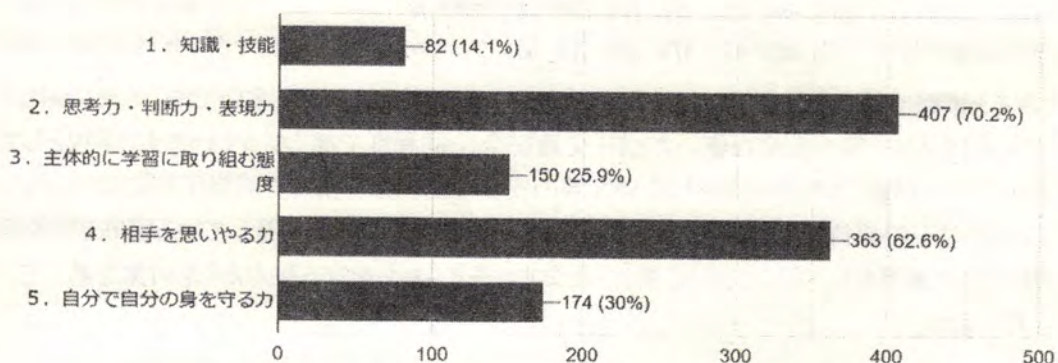
1. 身につけて欲しいと思っている力

保護者が1番身につけて欲しいと期待しているのは「思考力・判断力・表現力」。次が「相手を思いやる力」となっています。この2つに対する期待が他の項目より目立って多くなっています。学校の教育目標と保護者との間に大きなズレはなく、学校と保護者が教育に対して同じ方向を向けていると考えられます。

また、高学年になるにつれて、「知識・技能」を身につけさせたいと考える保護者が多くなっています。逆に、「相手を思いやる力」は低学年の方が多くなっています。

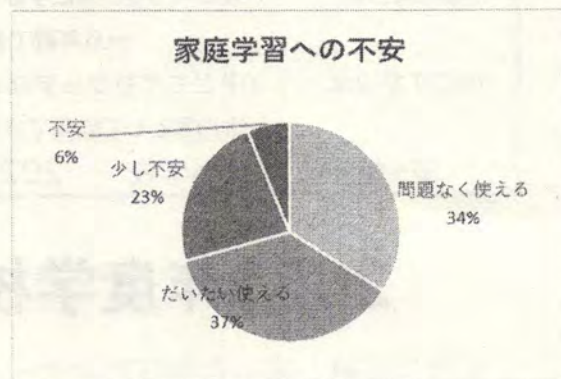
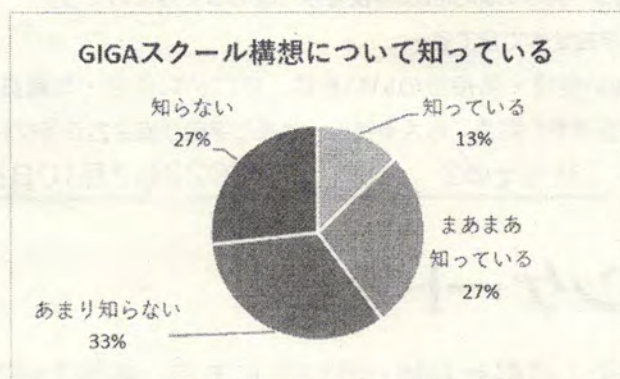
1. お子様特に身につけて欲しいと思っている力2つを選んでください。

580件の回答



6. GIGA スクール構想について

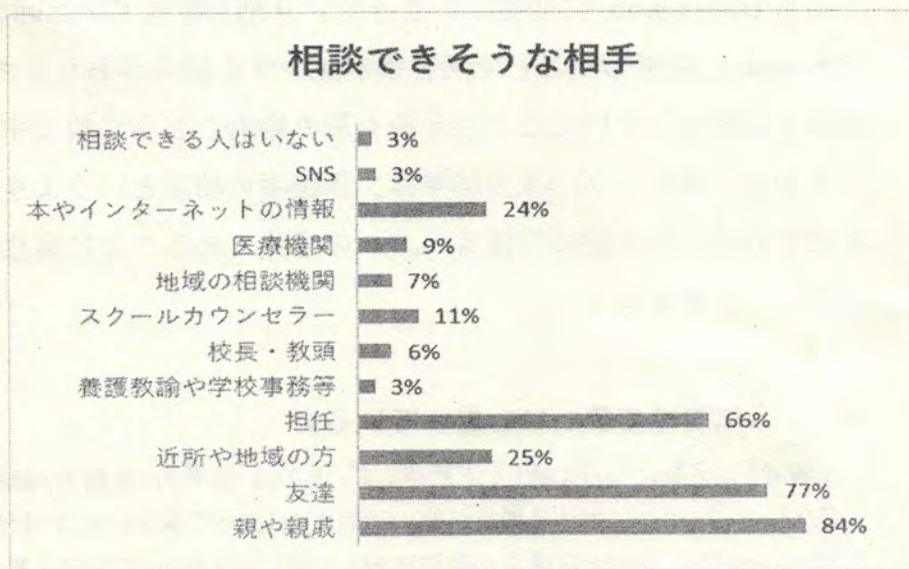
GIGA スクール構想への認知度は4割と高いとは言えないです。また、学習面、情報伝達面での期待についても、肯定的な意見は7割程度で、まだまだどのような使い方をされていくのか保護者も不安に感じていることがうかがえます。今後もわかりやすい説明を繰り返ししていく必要があります。端末を使った家庭学習については、学年が上がるほど問題なく使える家庭が増える傾向が見られます。その一方で、低学年では3割程度が不安を抱えています。



7. 子育てについて

子育てに不安を感じている保護者は学年に関わらず7割とかなり多いです。

相談できそうな相手として、「親や親戚」「友達」に次いで「担任」を7割近くの保護者にあげていただいています。困ったときに共に考えていける相手であり続けられるよう私たち職員は引き続き努力していくことが大切です。



8. 安全について

ご家庭で話しあっていること【複数回答可】								学校の安全教育に期待するもの【複数回答可】							
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
交通安全について	97%	96%	95%	95%	92%	90%	94%	交通安全教育	85%	90%	86%	82%	74%	82%	83%
防災について	47%	53%	50%	56%	54%	57%	53%	防災教育	75%	77%	80%	76%	70%	71%	75%
防犯について	81%	78%	73%	75%	71%	68%	74%	防犯教育	86%	81%	82%	76%	76%	75%	79%
SNS等のトラブル防止について	26%	42%	43%	57%	62%	71%	50%	SNS等の安全な使い方に関する	79%	81%	80%	85%	83%	89%	83%

全体で見ると家庭で話し合われている内容は、「交通安全」「防犯」の順に多いです。それに対して、学校教育に期待するものは「SNS等の安全な使い方」が「交通安全」と同程度で高くなっています。学校としては近年、児童指導上のトラブルが起りやすい場としてSNS等の安全な使い方の指導を高学年中心に行っていますが、保護者からはそれ以上の期待をされているようです。SNSと触れ合う環境を用意している家庭と学校教育とが双方で安全な使い方の指導をして行くことが必要とされます。子どもたちを守る観点からも対策を講じていかなければならないと考えます。

2021年度学校アンケートにお答えいただきありがとうございました。

また、高学年になるほど「学級通信」「テスト」の割合が高くなっています。逆に「参観」は高学年ほど低くなります。「1」でも、高学年になるほど「知識・技能」に対する割合が高くなっています。これが進学を考えた発達段階による傾向なのか、学校の評価の見直しの定着によるものなのか、今後の経年変化を見守っていきたいと思います。

4. 褒めるのはどんな時

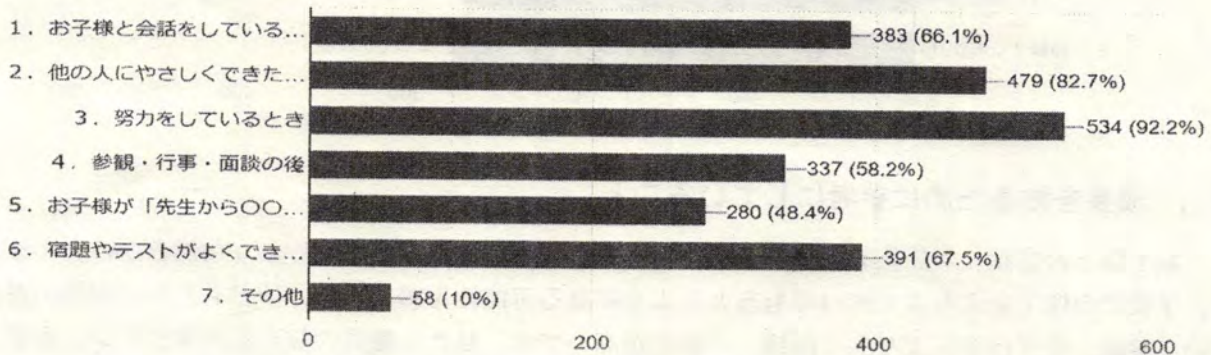
子どもたちが褒められる場面は、学校との関わりとの中というよりは、家庭での日常生活の中の場面が多いようです。「努力をしているとき」「他の人にやさしくできたとき」の順に割合が高いです。子どもたちが保護者に褒められている場面は、本校の教育目標と合致していると考えます。

努力しているときとは、学習指導要領の中でいうと、学習の過程で粘り強く取り組む姿でもあり、「主体的に学習にとりくむ態度」に含まれています。「1」の身につけて欲しい力では、「主体的に学習にとりくむ態度」の割合があまり高くなかったことを考えると、「主体的に学習にとりくむ態度」がどのような力なのか保護者には伝わっていないことがうかがえます。私たち職員は、学習指導要領の趣旨や目標を伝えていくことも含め、同じ方向を向いていることを確認しながら子どもたちの成長を支援していくことが大切です。

次いで高いのが「宿題やテストがよくできたとき」です。そうは言ってもテストはやっぱり重視されていることがうかがえます。

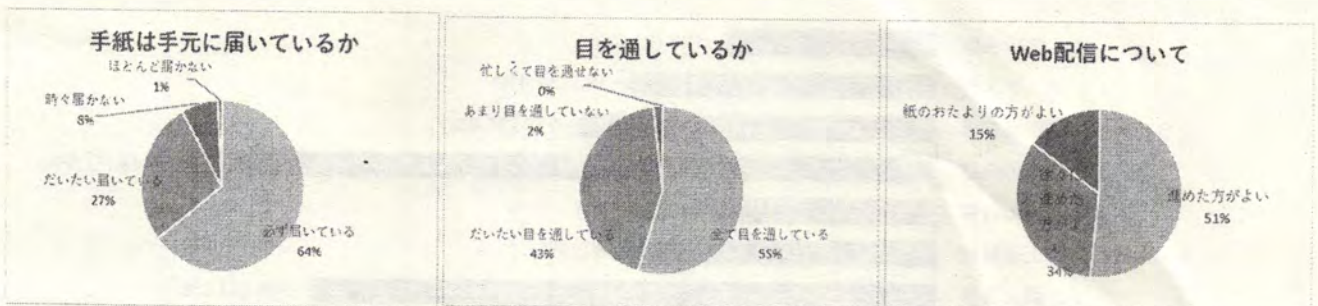
4. お子様をほめるのは、どんな時ですか。いくつでも選んでください。【複数回答可】

579件の回答



5. 学校からのお便りについて

アンケートに回答して下さった保護者の方々には、おたよりが手元に届き、目を通して下さっています。web 配信については、積極的に進めた方が良いと思っている保護者は、アンケートに回



答して下さった保護者の中でも半数にとどまっています。しばらくは紙媒体を中心としながら、web がどのように活用できるか職員も効果的な使い方を共有するなど、模索が必要であると考えます。

2. 自分の気持ちを伝えたり、相手の身になって考えたりする力をつけさせるために重要なこと

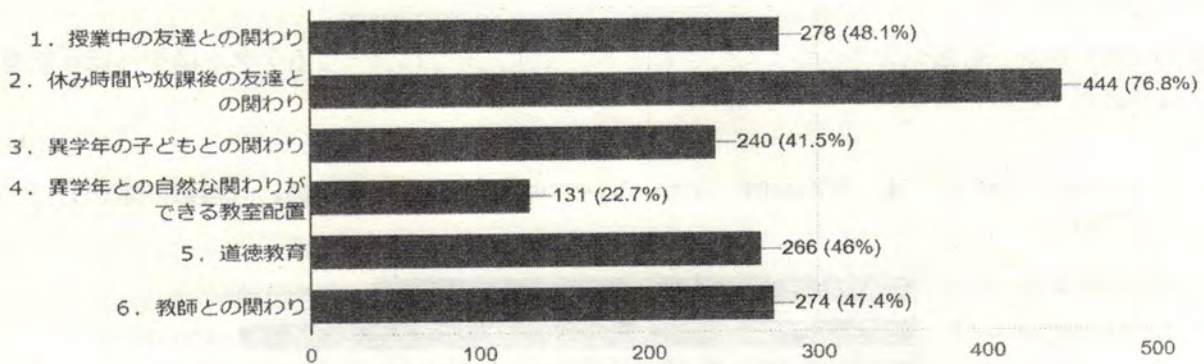
保護者は、「休み時間や放課後の友達との関わり」への期待が高く、その他の項目については、「教室配置」以外の項目にもあまり差がありません。私たち職員は、休み時間や放課後の子どもたち同士の自然な関わりが豊かになるよう、授業や児童指導に力を入れています。このことから、学校と保護者は同じ方向を向いていると考えてよいと思われます。

「休み時間や放課後の友達との関わり」を選んでいる保護者の割合が多いということは、日々起こるトラブルを乗り越えること自体が、子どもたちの成長につながっていることを保護者も理解してくださっていることの表れだとも考えられます。私たち職員も、日々の課題を次への成長につなげていけるよう、丁寧に指導にあたっていくことが重要と考えます。

また、保護者からは、週1時間の道徳の授業に対する期待が高いです。私たち職員は、この1時間の道徳の授業だけでは養いきれないものを日々の児童指導や授業で担っていることを保護者に理解してもらえるよう努めていきたいと考えます。

2. 香川小学校では、子どもたちに自分の気持ちを...ために大切だと思うものを3つ選んでください。

578件の回答



3. 成長を知るために参考にしていること

「お子様との会話」が圧倒的に多いです。家庭での親子の会話が生まれるような働きかけをすることで、学校での様子をよりよく知ってもらえるようになる可能性を感じます。子どもたちの実態が表れやすい「参観」や「行事」よりも「面談」の割合が高いです。私たち職員の伝える内容がいかに重視されているかが分かります。「ノートや作品」が、「テスト」よりも高くなっていることは、ここ2年の職員の取組の成果であると考えます。

3. お子様の成長を知るために、参考にしているものは何ですか。3つ選んでください。

579件の回答

